

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

朝、工事関係の人たちが5、6人、1組になって道路に散らばっている煙草の吸殻やゴミを火バサミで拾っておられます。近ごろ、会社の近くで見かける光景です。

地下鉄の工事現場の人たちが、朝礼のあと10～15分ほどかけて、黙々とゴミ拾いをされているのですが、この工事が始まって3、4年経つので、おそらく春夏秋冬、身を切るような寒い朝も、今のようにうだるような暑さの中でも、毎日やっておられるのだと思います。

ところが、そのそばを、自転車で物凄いスピードで坂を下ってくる若者や、おっちゃん達が、平然と吸殻を捨てていくのを、ときおり見かけます。

この工事関係の人たちが、現場近くの交差点を渡るときは、とうぜん、信号をきちんと守っておられます。

ところが、通行人たちは、10人のうち8人までが、赤信号の中を平然と通っていきます。一体この人達の神経はどうなっているのでしょうか。見掛けで人を判断しては駄目ですが、外見はそれなりの教育を受けた人達のように見受けられるのです



が、腹立たしい思いがします。

今、自分の損得勘定で価値判断をする人が多いように聞いておりますが、信号無視をしたり、携帯電話をかけながら自転車に乗ったり、煙草のポイ捨てをする人達は、その時、どんな損得勘定をしているのでしょうか、ぜひ知りたいものです。また、その人達が事故にあった時には、どの様な態度をとられるのか、ぜひ知りたいものです。

工事関係の皆さんの姿が、今朝もまぶしく目に映りました。

(じじいのぼやき) 2007 年執筆